

8月～10月のイベント (協会主催・後援・加盟団体主催等)

協会の主催・後援イベントや加盟団体の活動を中心に掲載しました。詳細は、協会ホームページおよび「Fax メール通信」をご参照下さい。

- 8月 20日(日) 八丈島 JAZZ フェスティバル2017 26日(土) CHAMPION SELECTOR spin out in 八丈島
26日(土)～27日(日) 自然っ子クラブキャンプ
- 9月 4日(月) 第73回八丈島民大学講座1日目 6日(水) 第73回八丈島民大学講座2日目
23日(土)～24日(日) 小原流八丈支部みんなの花展
- 10月 7日(土) 子ども招待公演「人形劇ルドルフとイッパイアッテナ」

第91回あびの実高校生以下ご招待公演 10/7

三根小体育館・10月7日(土)午後7時開演 ルドルフとイッパイアッテナ 人形劇団 ポポロ

映画化され、教科書にも載っているお話「ルドルフとイッパイアッテナ」。変幻自在な舞台と生演奏で、楽しさいっぱいの人形劇として八丈島にやってきます。

主人公は子ねこのルドルフ。ある日、ひよんなことで乗ったトラックで東京へと運ばれてしまいます。そこで出会ったのがボスねこのイッパイアッテナ。イッパイアッテナは賢くてあることができます。そして2匹であるところへ出入りしてどんどん賢くなるのです。

今回は各地の文庫連絡会のご協力で、公演に先立って本の読み聞かせをしていただくことになりました。劇のお話を知っていれば、舞台はもっと楽しく、もっと味わい深く鑑賞できます。さらに、読み聞かせの心地よさ、本を読む楽しさを味わえます。さらにさらに、何と今回は高校生以下無料ご招待!! まずは、ご自分の地域の文庫連絡会に参加し、そして、ご一家で、デートをかねて、たまの息抜きに、人形劇をご堪能ください。高校生以上で会員でない方は会員券が必要です。お問い合わせは下記まで。



2-4084 または 090-5817-3266

◆ 暑中お見舞い申し上げます。空梅雨のようで、畑の作物を見ながら雨よ降れ降れと天を仰いだ方も多かったのではと思つた。そんな梅雨も明けてくれた。島の醍醐味、夏の陣だ。◆ 島の夏は「夏祭り」からスタートする。気持ち陽気な島んちゅーは祭りが大好きだ。会場は連日大賑わい。出店が減ったと嘆く人がいたが、財布が豊かだったら何でも飲んだり食べたりし放題だ。その上、幼児からチョット前まで女童言われた人など、島の芸達者の皆さんとフロの方々の舞台も見逃さない。◆ 45回も続いてきた島の大きな風物詩だ。今年はこのイベントがあったか。ある大物歌手を招いたため、子どもに人気の「コロンジャマーショー」が予算的に出来なくなったのか。そこで若手実行委員が「それなら自分で」と発奮、それも中学生「コロンジャマー」の登場になった。この料金を計らい、商工会若手の皆さんに拍手! 新たな発想こそ、地域ぐるみの島の祭りといえる。◆ 夏祭りのあとは盆踊り。私も自地域で企画に参加しているが、各地区のひと工夫も工夫もされた出し物の違いが面白い。地区の皆さんの取り組みも参加者も年々盛んだという。盆踊りは地域がまとまる盆行事という気がするからなんとも嬉しい。久しぶりに帰省された方、観光客も含めて楽しんでいただきたい盆踊りだ。◆ わが文化協会も負けられない。夏休み最初の日曜日、今年初めての企画「八丈小島で遊んじゃおう! 体験ツアー」を自然っ子クラブとの共催で実施した。事前に自然体験のワークショップを行い、70人の子どもとスタッフが参加し、天候にも恵まれ、子ども達に大きな自然体験をプレゼントできたと思う。

◆ 8月20日は恒例の第5回 JAZZ フェスをおじゃれホールで開催する。ご期待の内容だ。JAZZ フェスは開催運営に多くの中高生が関わり、独自の提案を行いながら、イベントにひと味もふた味も添えてくれる。見逃したくない。◆ 〇五早々に第78回八丈島民大学講座が信用組合ホールで開かれる。時々のお話を易しくかつ鋭く講義をされるので、これも見逃さない。◆ 来週の1〜2年、協会に「八丈で舞台公演したいが・・・」という問い合わせが何件もある。立派なホールと豊かな自然と人間性のお陰は喜ばれている。都内に打合せに出かけることもある。先方から来島して公演してくれるという貴重なお客様が、島の皆さんが1回でも多く舞台公演がみられるように、受け入れ体制に大いに力を入れていきたいと猛暑を頑張る多忙な協会の夏だ。

(編集 内山江幸夫)

文協コラム「南風」 No.14

八丈島文化協会 会報 第19号

八丈町三根4869-1 八丈島文化協会事務局 Tel/Fax 2-2833
HP: <http://www.8jobunka.jimdo.com/> e-Mail: bunkakyoukai8jo@yahoo.co.jp

2017年8月8日

“子どもたちによる 子どもたちのためのジャズフェス” 八丈島JAZZフェスティバル2017 開催決定!! 8月20日

<子どもたちによるジャズフェス>「自分たちが“楽しい”と感じたこととや培ってきたノウハウを後輩たちに伝え、ふるさと八丈の未来のためにもこのイベントを残したい。」という地元の子どもの想いやアイディアがふんだんに盛り込まれています。

<子どもたちのためのジャズフェス>音楽業界の第一線で活躍しているミュージシャンを八丈島に招き、間近で“本物”に触れる機会を子どもたちに提供します。

<なぜジャズなのか...>ジャズは、コード進行というルールの基で、演奏者の自由な発想によって彩られるアドリブの世界です。また、同じ曲でも演奏者によってカラーが異なり、そこにジャズの魅力があります。「これぞジャズだ!!」そんなことを伝えたいわけではありません。子どもたちを“型”にはめるのではなく、一人一人の個性を尊重しつつ一つの舞台を創り上げる喜びを参加者(出演者、来場者、スタッフ)のみならずと分かち合いたいのです。



八丈島JAZZフェスティバルは、実行委員の大人たちだけでなく、地元の子どもたちと共に創り上げるイベントです。この趣旨に賛同して下さるボランティアスタッフをはじめ協賛企業等からの支援のお陰で、今年5回目の開催を迎えることができました。また、大人たちが運営するプロステージの入場料は、地元の子どもたちが一流のミュージシャンと共演するための費用として活用させていただいています。つまり、このイベントに足を運んでくださるお客様も支援者のお一人なのです。



今年、地元の子どもたちによる演奏と一流のミュージシャンによる演奏を、一日でお楽しみいただけます。各ステージの合間には、フードとドリンクの販売もごさいます。お誘いあわせの上、一人でも多くの方々のご来場を心よりお待ちしております。

[日付] 8月20日(日) [会場] 八丈町多目的ホール「おじゃれ」

【アマチュアステージ】 12:30 開場/13:00 開演 [入場] 無料

[出演] 八丈ジュニアアンサンブル(小学生有志)、富士中吹奏楽部、三原中音楽部、大賀郷中音楽部、社会人吹奏楽団
[ゲスト] 佐野 聡(Tb)、米田裕也(Sax)、高橋ゲタ夫(B)、高橋 徹(Dr)、中島 徹(Pf)

【プロステージ】 18:30 開場/19:00 開演

[出演] HACHIJO in D5

佐野 聡(Tb)、米田裕也(Sax)、高橋ゲタ夫(B)、高橋 徹(Dr)、中島 徹(Pf)

[入場] 前売一般1,800円/学生(高校生以下)1,000円/親子ペア券2,000円

当日一般2,000円

2017.7.8 第5回 芸能文化祭 糸のようにつながれてー

7月8日、第5回八丈島芸能文化祭が開催されました。今回は「糸のようにつながれて」ということで、養蚕から黄八丈の染め・織りという流れをテーマに、3人の語り部で進行しました。来場者数266人、出演者数7団体約80人、スタッフ20名でした。

今回も多くの方々に参加していただき、文化祭を行うことができました。前回の文化祭から、島民のみで出演、制作を手掛け、島民による島民の為の舞台が出来上がりました。会を重ねるごとに舞台技術者、演者の技術向上も見られ、より表現の幅が広がってきていることも舞台を通して感じとれます。そして、この舞台を通して、島民同士の繋がりが深まっていくことを願っています。協力していただきました多くの方々に感謝を申し上げます。

参加団体は、櫻立盆踊り保存会、声楽アンサンブルConAnima、大賀郷婦人会、

フラメンコサークル、中之郷盆踊り有志の会、Melete、加茂川会、伊勢崎唯&山下栄進。司会は、笹本、宮城、内山の3女性。



第73回 八丈島民大学講座 9/4・6

第1日目 9月4日(月) 午後7時30分～9時

「憲法と私たち」 木村草太 首都大学東京教授(憲法学)

この講座では、憲法とはどのようなものか、を説明し、身近な問題から、国際的スケールの問題まで、憲法をどう使うか、ということ講義させていただきます。

第2日目 9月6日(水) 午後7時30分～9時

「[ヒアリ]に学ぶ、離島における外来種問題」 可知直毅 首都大学東京教授(環境生態学)

島の生態系は、外来種に対して脆弱なため、特別な配慮が必要です。小笠原で実施されている外来種対策とその課題について解説します。さらに、最近内地で相次いで確認されたヒアリの侵入に対する対応を紹介し、離島における外来種対策のあり方について考えます。

会場：七島信用組合八丈島支店 2階ホール 受講無料

主催：八丈島文化協会・首都大学東京 後援：八丈町教育委員会 協賛：七島信用組合

きむら・そうた先生は、1980年、横浜市生まれ。東京大学法学部卒業、同助手を経て、現在、首都大学東京法学系教授。憲法学専攻。主な著書に、『憲法の急所』(羽鳥書店)、『憲法の創造力』(NHK出版新書)、『テレビが伝えない憲法の話』(PHP新書)、『憲法という希望』(講談社現代新書)。共著に『未完の憲法』(奥平康弘氏との共著、潮出版社)など。テレビ朝日「報道ステーション」で解説者。

かち・なおき先生は、1978年東京大学大学院で修士(植物学)、1983年理学博士。植物生態学・保全生態学・島嶼生態学が専門。小笠原を主なフィールドとして外来種駆除が島嶼生態系に与える影響について、また小笠原の植物を中心とした保全生態学・草本植物の個体群動態と生活史・窒素固定植物の生理生態学を研究。

八丈島自然っ子クラブ 八丈小島体験事業終わる

実施日：平成29年7月23日(日)。参加者数：こども32、保護者19、スタッフ19 合計70人
夏休み最初の日曜日だった7月23日、自然っ子クラブ毎年恒例の八丈小島上陸体験ツアーに行ってきました。朝8時に八重根漁港集合。諸注意のあと2艘の漁船に分かれて乗り込み、さっそく出航。絶好の天気でも風も弱く穏やかな海原を小島へ。船上から宇津木集落跡や崩落の続く断崖を観察し、30分程で鳥打に到着。船の舳先から岩場に飛び降りて上陸しました。

上陸後は、まず鳥打集落跡の散策。小島の歴史やアホウドリの繁殖、ノヤギ駆除の話などを聞きながら、旧鳥打小中学校まで往復しました。

船着き場に戻るといよいよ海遊び。歓声とともに足の届かない深い海へ子ども達が次々飛び込みます。高さ10m近い岩場から見事なジャンプを披露した女の子も。

続いてお昼の食材探し。皆で朝の引いた磯へ行ってカメノテをたくさん収獲し、磯もの汁を作って食べました。

午後からも引き続き海遊び。3時の迎えの船の時間まで思う存分遊ぶことができました。短い時間でしたが、小島の豊かな自然と、かつてここで人々が暮らしていた歴史を感じる事ができ、良い思い出となったものと思います。

最後に、渡船を出してくれた優宝丸の文則さん、そして今年から船代を補助してくれた八丈島文化協会に感謝いたします。



